

熊野参詣道 24カ所追加

国史跡「高野参詣道」も指定

国の史跡などの指定を検討する文化審議会は19日、熊野古道で知られる「熊野参詣道」の24カ所を史跡に追加指定することを文部科学相に答申した。また、今まで1カ所だけ史跡指定されていた高野山への道に4カ所を加えて「高野参詣道」とすることや、世界的な博物学者の南方熊楠(1867～1941)ゆかりの神社など13カ所を「南方曼陀羅の風景地」として名勝に加えるよう答申した。



史跡「熊野参詣道」に追加される糸我峠は紀伊路にある⑥「南方曼陀羅の風景地」の一つ、九龍島=いずれも県教委提供

「史跡」には「熊野参詣道」に新しく、王子跡や峠、神社など計24カ所が加わる。京都と田辺の一部を結ぶ「紀伊路」の7カ所も含まれている。県教委文化遺産課によると、紀伊路は元々は東から

の「伊勢路」に対する総称だったが、中辺路などの呼び名が登場したことで、田辺市にある「振り分け石」までの道を指すようになったという。今回は、海南市、有田市、広川町の3市町にある7カ所の王子跡や峠などが入っている。

熊野参詣道での史跡指定は2000年、02年、12年に続いて4回目。今回、紀伊路、中辺路、大辺路の計約16キロメートルが加われば、距離は約213キロメートルとなる。

ほかに、高野山町「石」として指定されていた史跡に橋本市、九度山町、高野町、かつらぎ町の4カ所を加え、名称を「高野参詣道」とする。距離も24キロメートルから約39キロメートルに増える。

同課は、史跡指定によって文化財を守る法的根拠が満たされるとして、今後、これらを世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録したい考えだ。

熊楠ゆかり 名勝に13カ所

「名勝」に指定される見通しの「南方曼陀羅」とは、熊楠が植物学者の白井光太郎に「わが国特有の天然風景はわが国の曼陀羅ならん」と書き送ったことが由来。自然界のものは全てつながり、関わり合っているという熊楠の思想を言い得ているとして名勝の名に選んだ。

人物にゆかりのある地が名勝に指定された例には、宮沢賢治の文学世界について

ての「イーハトーブの風景地」や、松尾芭蕉にまつわる「おくのほそ道の風景地」などがある。

13カ所の神社などは、いずれも熊楠の人生をたどるものばかりだ。熊野参詣道の中辺路ルートにある継桜王子には、樹齢約800年の杉「一方杉」が生えている。これは明治政府の国家神道をめざす政策に伴う「神社合祀」に熊楠が反対したために伐採をまぬかれ

たとされる。また、熊楠の妻の父が宮司を務めたという鬮雞神社や、自然環境を守るために寄付金を集めて土地を買い取るなどするナショナルトラスト運動の日本発祥の地とされる天神崎なども含まれている。

【熊野参詣道】藤白王子跡、藤白坂、藤代塔下王子跡、一壺王子跡(海南市)、糸我峠(有田市)、河瀬王子跡、鹿ヶ瀬峠(広川町)、北郡越、長尾坂、潮見峠、赤木越、鬮雞神社(田辺市)、八上王子跡、稲葉根王子跡(上富田町)、阿須賀王子跡(新宮市)、小獅子峠、かけぬけ道、駿田峠、二河峠、清水峠(那智勝浦町)、清水峠、飛渡谷道、富山平見道、新田平見道(串本町)、夕オの峠(ささみ町)

【高野参詣道】黒河道(橋本市)、黒河道(九度山町)、京大坂道不動坂、女人道(高野町)、丹生酒殿神社を含む三谷坂(かつらぎ町)

●名勝
【南方曼陀羅の風景地】須佐神社、鬮雞神社、伊作田稻荷神社、神島、高原熊野神社、継桜王子、奇絶峽、龍神山、天神崎(田辺市)、八上神社、田中神社(上富田町)、金刀比羅神社(白浜町)、九龍島(串本町)

(森本大貴)

「佐渡鉾山」重要景観に

名勝に徳島「大歩危」指定

文化審答申

文化審議会は19日、佐渡相川の鉾山および鉾山町の文化的景観（新潟県佐渡市）など3件を重要文化的景観に、吉野川中流の溪谷「大歩危」（徳島県三好市）など3件を名勝に指定するよう下村博文文部科学相に答申した。6件の史跡指定や3件の天然記念物指

定、3件を登録記念物にすることも求めた。近々答申通り告示され、史跡・名勝・天然記念物は計3163件、重要文化的景観は50件、登録記念物は95件になる。

同県は「一歩前進した」と歓迎している。答申に盛り込まれたのは、熊野古道のうち藤白王子跡（海南市）など24地点（延長16・4キロ）と、高野山への参詣道のうち黒河内（橋本市、九度山町）など4カ所（延長15・4キロ）。歴史的価値の証明が不十分だったり、地権者の同意が得られなかったりして、2004年の世界遺産登録から漏れていた。

熊野古道の一部史跡に追加指定

世界遺産追加へ前進

今回の答申では、和歌山県内の熊野古道や高野山への参詣道のうち、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に未登録の区間が、国史跡に追加指定されることになった。この区間の世界遺産への追加登録を目指している

【谷田朋美】

◆文化審議会の主な答申内容◆

(かっこ内は所在地)

【史跡の新指定】旧新町紡績所（群馬県高崎市）▽耳取遺跡（新潟県見附市）▽加越国境城跡群および道一切山城跡、松根城跡、小原越（富山県小矢部市、金沢市）▽多田銀銅山遺跡（兵庫県猪名川町）▽上牧久渡古墳群（奈良県上牧町）▽大野原古墳群一椀貸塚古墳、平塚古墳、角塚古墳（香川県観音寺市）

【名勝の新指定】南方曼陀羅の風景地一神島、鬮鷄神社、須佐神社、伊作田稻荷神社、継桜王子、高原熊野神社、奇絶峽、龍神山、八上神社、田中神社、九龍島、金刀比羅神社、天神崎（和歌山県田辺市、白浜町、上富田町、串本町）▽大歩危（徳島県三好市）▽アマミクヌムイ（アマミクの杜）一今鬼神ノカナヒヤフ（テンチジアマチジ）およびこはの御嶽（クバの御嶽）、久高コハウ森（久高のフポー御嶽）（沖縄県今帰仁村、南城市）

【天然記念物の新指定】伊万里湾カプトガニ繁殖地（佐賀県伊万里市）▽種子島阿嶽川のマングローブ林（鹿児島県中種子町）▽久高島の海岸植物群落（沖縄県南城市）

【登録記念物の新登録】七里岩（山梨県韮崎市）▽山水園庭園（山口市）▽御神崎（沖縄県石垣市）

【重要文化的景観の新選定】佐渡相川の鉾山および鉾山町の文化的景観（新潟県佐渡市）▽大沢・上大沢の間垣集落景観（石川県輪島市）▽京都岡崎の文化的景観（京都市）

熊野・高野参詣道史跡に追加指定

文化審が答申

文部科学省の文化審議会は19日、和歌山県内の熊野三山への信仰の道である「熊野参詣道」の24地点と高野山に至る「高野参詣道」の4地点を史跡に追加指定するよう下村博文文部科学相に答申した。

今回の指定を受け、和歌山県は世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」への追加登録に向け、登録済みの参詣道との関連などについて、さらに詳しく調査を行う予定。県文化遺産課は「国への報告書提出など手続きが

順調に進めば、最遅で来年の世界遺産追加登録も可能」としている。

追加指定される熊野参詣道は9市町にまたがり、16・4キロ、面積は8・9センチに及ぶ。高野参詣道は世界遺産の高野山町石道（ちよういしみち）をのぞいた、橋本市から九度山町につながる黒河内など4市町4地点で、計15・4キロ。

国名勝に「熊楠の風景地」

国史跡 紀伊路など追加指定

19日の文化庁文化審議会答申で、国名勝に指定される見通しとなった民俗学者の南方熊楠（1867～1941年）ゆかりの地「南方曼荼羅の風景地」。名勝指定されれば県内12件目となる。

また、国史跡に追加指定するよう答申があったのは、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる熊野古道と高野山の参詣道のうち同遺産未登録だった区間など。指定されれば、県が目指す世界遺産の追加登録に大きく前進するとみられる。

熊楠は「わが国特有の天然風景はわが国の曼荼羅なり」と主張。その独特の世界観のもと、明治政府が多数あった神社を整理しようとした神社合祀政策への反対運動や環境保護活動に取り組んだ。熊楠が保護に務めたり、フィールドワークを行ったりした、神島▽須

佐神社▽継根王子▽龍神山など県内4市町の13カ所が対象となった。

熊野古道では、平安時代から信仰を集めていた阿須賀王子跡（新宮市阿須賀1）など熊野古道の中辺路や大辺



「南方曼荼羅の風景地」として国名勝に指定される見通しとなった田辺市の天神崎一景提供

山参詣道では、黒河内など4カ所が盛り込まれた。

これまで、国内で追加登録が行われた世界遺産は「石見銀山遺跡とその文化的景観」（島根県大田市）だけ。「谷田朋美、藤原弘」